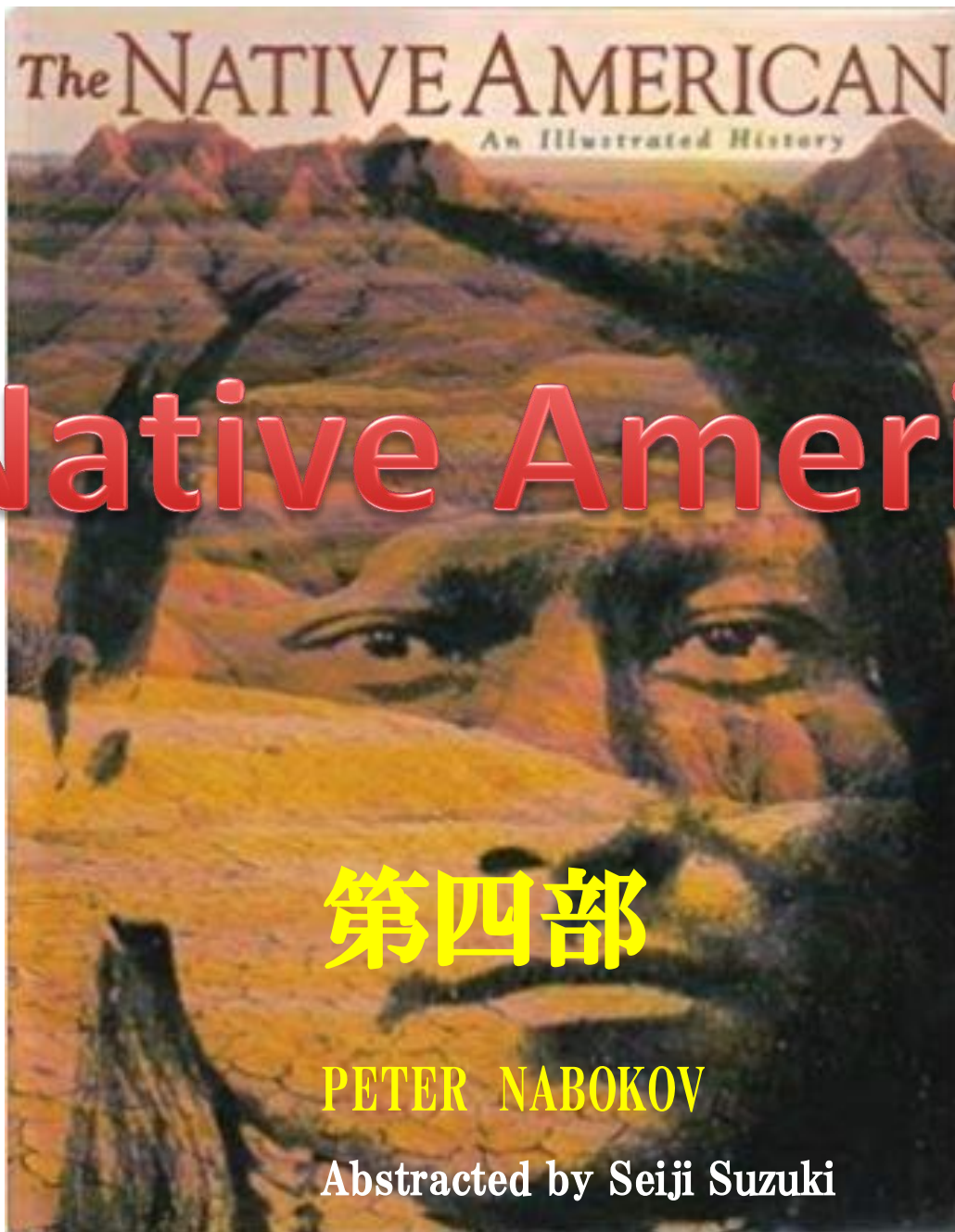




The Native American

第四部

PETER NABOKOV

Abstracted by Seiji Suzuki



シャイアン族とアラパホ族がGhost DanceのためにNorth Carolina River に集合している

LONG THREADS

長い道のり

われわれの土地の唯一の支配者となるために、彼等は我々を私の手の大きさ程の狭い保護居留区に追放し、われわれに、わたしの腕程の長い程度の、約束をさせた；しかしながら、次の年には、その約束はもっと短期間のものになり、そして、それは毎年、私の指ほどの長さになるまでどんどん短くなって行き、しかも、その約束を彼らは、たったの半分ほどしか守っていないのだ。

CHIEF PIAPOT, CREE, 1895

CHAPTER 18

世紀の半ば、
1846－1861年
の頃の原住民
アメリカ人

1840年代と1850年代は、広大な土地所有権が、短期間にアメリカ人の下になだれ込んで行った分岐点であった。

CHAPTER 19

白人達の戦争
に巻き込まれ
て
1861－1865年

チョクトー族とチクワソー族が南部地域に、連隊を召喚した一方、チェロキー族は、論争で割れていた。

CHAPTER 20

暴力と慈悲
心の狭間、
1865－
1879年

部族の集団をバラバラにする強力な粉碎用エンジン”が、インディアン地域全体に残っていた。

CHAPTER 21

収束
1879－
1895年

1712年に、北カロライナのタスカローラ族が、侵入してきたイギリスとドイツの植民者達を攻撃した。

CHAPTER 22

引き潮時
1894－1915

多くの者達がお互いに、自分たちの子供達のためにもっと希望の持てる時代をつくろうと、共通の認識を探し求めて行った

CHAPTER 23

独立国への
かすかな光
1915－1924

アメリカのインディアン達は、武力や、病気による消滅、あるいは、望まれた考えにより“姿を消す”といったもので排除されはしなかった。

1846年10月

アメリカ合衆国軍の中尉James W. Abertが、さわやかな秋の朝早く、ニューメキシコ中央のLagunaのプエブロの外に彼のロバに跨り出て行った

正午ごろになり、Abertの軍は突然、“これまで経験したどんなものよりも上回る” 壮大な風景に出くわした山の背の頂に出た。眼下には、まだ新緑の生い茂ったSan Jose溪谷の大きな口を開いたところから、姿を表して、Acomaのプエブロを維持している砂岩のテーブル状の巨岩が立っており、その下に横たわる泥の壁は、短黄色の岩に対して、ほとんど迷彩を施し偽装して隠していた。ケレス語を話す住人達に対して、これはまさしく“**世界の中心**”であった。

19世紀の半ばにおけるこうしたアメリカインディアンの10年間で 西部の地域に開拓して行く家族や、街をつくる人達の最期の際立った拡大を是認する為に開かれた偉大なドアとして、キーキーきしんでいるある種のアメリカ大陸の蝶番として思い浮かべることが出来る。新しくやって来た人達にとっては、こうした年代は、海から輝かしい海に新しい連邦を築くために神が与えてくれた国家的な宿命の絶頂として記念されたのだろう。

ミシシッピの西の地域の膨大な、そして、対照的なインディアンの文化は最近の3世紀の間、ヨーロッパ系のアメリカ人の相互作用をし続けてきた。しかしながら、それから、彼等は東部にいくインディアン達にとって、世界を上下さかさまにしてしまった決定的な、かつ、悲惨な変化の先端に立っていた。その後の75年間に西部は、アングロアメリカ人の新しく来た人達には、“勝利”となったのかも知れないが、しかし、それは間違いなく、狩猟をし、漁をし、食糧を探し回り、畑を耕し、そして、交易をして基盤を築き、10,000年以上もの間、発展をし続けてきたインディアンの社会にとっては“喪失”であったのだろう。

Oregon Trail

Chimney Rockへの到達 William Henry Jackson, 1931.

今日でいうネブラスカのBayardの近くにある、チムニー ロックは、さらに識別出来る山々の地形が近くにあるが、そこに向かって西に進む旅行者達の良い道しるべとなっていた。



テキサスの併合

テキサス共和国が1836年にメキシコから最終的に自由に解放された

テキサス州は、実際には、論争の10年間が続き、1845年に併合されるまで、州としての形を確立することはできなかったが、しかし、1845年1861年の、テキサスの不法者や土地に群がる入植者達によるインディアン達に対する残忍な攻撃が、Hasinai族やCaddo族といったような、そこに長い間住んでいた原住民の居住者たちを、事実上合衆国から根絶した。

テキサスが州になった一年後の1846年に、イギリスが、オレゴンに対する主張を譲渡し、この領域も、合衆国に吸収された。



幌馬車の監視

Frank C. McCarthy, 1852

THE TIDE OF POPULATION (人の波)



今日のオクラホマのAnadarko近くの
Washita Riverを横切る幌馬車隊

イギリスとの (1846) 土地移管

Guadalupe Hidalgo協約 対メキシコ (1848)

大陸横断鉄道

Gadsden Purchase (1853)

オレゴン寄付協約 (1850)



水圧による金鉱山

William Henry Jackson , 1936



芝士の家 William Henry Jackson, 1936

木材の無い大平原では、材木の値段は非常に高価であったので、開拓者たちは彼らの家を建てるために土の詰まった芝士をよく使っていた

西部への拡大

Bozeman Trail

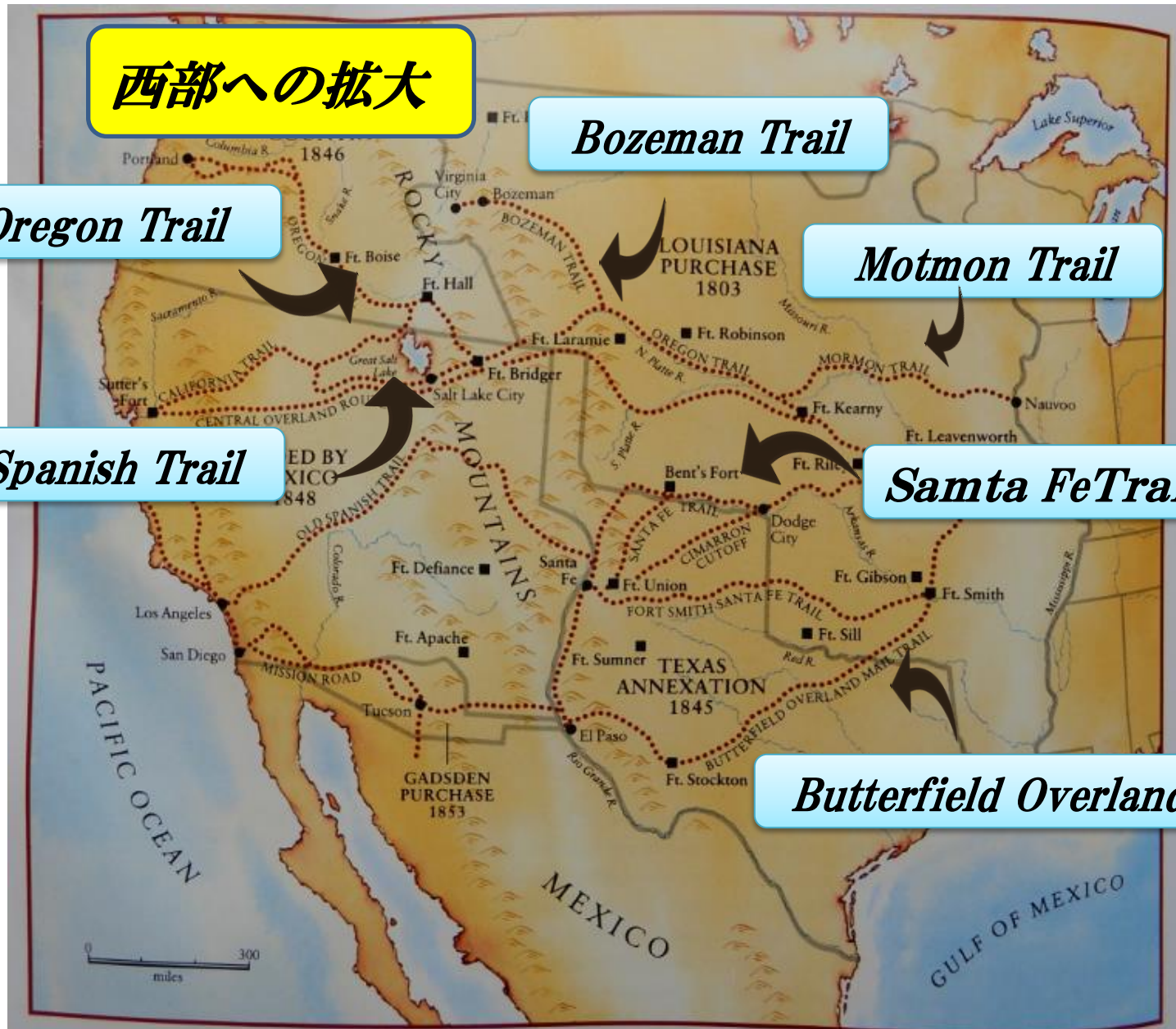
Oregon Trail

Motmon Trail

Old Spanish Trail

Samta Fe Trail

Butterfield Overland Mail Trail



拡大して行く街道と、鉄道網と、そして、伝達網

Walla Wallaの会議

Stevensは、カユース族Cayuse、ウマティマ族Umatilla、ヤキマ族Yakima、ワラワラ族Walla Walla、そして、2,500人のネズパース族のインディアン達をWalla Wallaに呼び出した



1855のWalla Walla 議会へのNez Perceの到着



領地の譲渡についてインディアン達と議論している会議での、政府の役人のIsaac Ingalls Stevens

部族の代表を時には脅したり、上手く抱き込んだ入り、そして、派閥に分けたりする賢い取り混ぜで、彼はグループを三つの協約、総計で60,000平方マイルの土地をエーカーあたり3セントで引き渡すというもの、

ミシシッピー川とロッキー山脈の間

ここでは、比較的新しく大草原に移住した人達が、形が新しくなった馬を基礎にした生活スタイルを確立していた。

スー族、シャイアン族、アラパホ族、クロー族、グロス ベントレ族、フシニボア族、アリカラ族、そして、ショショーネ族と言った国から、だいたい10,000人位のインディアン達が、1851年の9月にワイオミング州の南東部にあるララミー砦に呼び集められた



LaramieのWilliam 砦 Alfred Jacob Miller, 1851

270人もの神経質な兵士達からなるFetzipatrickの代表団は、まさしく数で圧倒し、巨大な贈り物の山が全ての来訪者に与えられ、そして、結果としての協定が、最初の部族の境界線を定める事となり



The Great League of the Iroquios

こうした北東の部族の運は、彼らの大英帝国への忠誠に対して、18世紀の終わりに彼らが経験した、恐ろしいアメリカ人の仕返しの後、安定していた。

セミノール族

1830年代のセミノール戦争の後、多くのもの達が、彼らがCreek族とShawnee族の領地の間に詰め込まれて保護居留区を占拠していた場所であるがそのインディアン
の領域に強制的に退去をさせられた。しかしながら、ほんの2~300人程度の奴隷となったセミノール族の者達が、亜熱帯地域の、セイヨウヒノキやマングローフの沼沢地の奥まった場所でヤシの葉で出来た屋根の小屋、あるいは、高い土台柱の家を建て、狩猟や漁業をしながら、隔離されて、隠れて生活していた。彼らの抵抗は、既に、合衆国政府に、15,000人の兵士と、\$50,000,000もの出費を掛け、そして、彼らはワシントンと、戦争の足掛かりを維持し続けていた。



川の土手で子供を水浴させている
Seminole族の女（1930年代）

CALIFORNIA GENOCIDE カルフォルニア集団大虐殺

アメリカにおけるあらゆるインディアン人の領地の中で、多様な経済領域に人々を住まわせた異なった原住民のグループの寄せ集めで、カルフォルニア州は、アメリカがこうした領地をメキシコから勝ち得た時以来、最も多くのことを経験してきた。村から村に、はびこった野蛮行為が、合衆国の北半分に渡って流れる川の流域に群がってきた、金鉱山業者、牧場労働者、そして町民にとって、日常茶飯事となった。

政府にとって、無防備なインディアン人の集落を平穏にするような“ボランティアの護衛軍”に効果的な報酬を授けることは、非常識的なことだった。1851-1852年の一年の間に、カルフォルニア州は、いい加減な程度に組織化された金鉱山業者、そして、新しく入って来た入植者達より、彼らの威嚇的な襲撃の間に背負い込まされて、提出されて請求書に対して、この借りを返済するために1,000,000ドル以上の金を、承認した。

ゴールドラッシュの前には、Humboldt Countryの集落に4,000人以上の人が住んでいた；その後、Needle Rockの一人の犠牲者が、後に思い出していたように、彼等は、無慈悲に畏におとしこまれたのだった。“だいたい、朝の10時ごろ、沢山の白人達がやってきた。彼らは、私の祖父を、母を、そして、父を殺した。私は、それをしかと見た。私は、その時、大きくなった少女だった。それから、彼らはわたしの幼い妹を殺し、彼女の心臓を抉り出し、そして、それを私が逃げて、かくれていた藪の中に放り投げた・・・・・・私は何が起こっていたのかわからなかった。私はあまりにも衝撃的で、その時、私はわたしの小さな妹の心臓を手を抱えて、ずっとそこに隠れていたのではないかと思う。” 1860年代の終わりには、Sinkyone族の残された人たちは、起こったことのあまりにも恐怖となる記憶を持った100人の生き残りの人が全てだった。1855年から1870年の間、こうした野蛮的な行為は、例外というよりも、通常のことであった。例えば、1865年に4分の1世紀前には、14,000人以上の人が居たWintu族は、1,000人以下に減少し、全くどうなるのか分からないような弱体化した部族になっていた。そうした物語は、社会という社会が同じような悪夢を経験した丘陵地帯全体にわたり繰り返されていた。

白人達の戦争に巻き込まれて 1861－1865年



1862年3月のアーカンサス、Pea Ridgeの闘い、
Stand White に指揮された、最初のチェロキー族の連隊、John Drew 大佐のもとでの最初の
チェロキー族の騎馬ライフル、これに対する南軍の O. G. Welch大佐の下でのチョクトー -
チクワソー連隊

Pike

連邦の西側の境界領域を守るために、5つの文明開化された部族（クリーク族、チクワソー族、チェロキー族、チョクトー族、そして、セミノール族、）の数千人もの人を雇うために\$100,000もの金を使う積りでやって来た

Ross



強制退去の後のインディアンの領地での部族の会議の中では、WatieとRossは、多くの問題で反対の立場をとった

確執

一部チェロキー族の血が流れており
“Rose Cottage (バラの小屋)”

Rossは、30年前の連邦政府の強制退去に対して、上手くいかなかったその抵抗の経験者であり、この時に、彼の部族の数の多さの機能、これが北側の部族についていた

Watie



Deer族という氏族

“Standing Together” として知られた、同盟国の確固たる支援者
チョクトーの国の議会が1861年の2月の初めに決断したのは、“われれは、・・・われわれの隣人と、南の地域の国の兄弟たちの運命、とともにするために、残されるべきだ。”

南北戦争の突発の一年後に、合衆国政府は、ミネソタ州西部のEastern Siouxの立ちあがりにより、混乱した。

この突発は、二重の前触れ

白人達と大平原のインディアンたちーとりわけスー族、流血の衝突の継続、これは、1890年まで終結することはなかったが、これを予想した

その余波として、それは、巻き添えにされていないウィネバゴと同様、巻き込まれたスー族の両方を、かれらの住んでいたミネソタの土地に溢れてきた農園に定住する白人達のために、さらに西部の保護居留区に強制退去することに対しての言い訳をしたように、インディアンの抵抗に対する究極的な代価を

南北戦争の初期の段階では、攻撃そして退却という略奪をこととするものと、中西部全体に渡たり、大規模な戦闘が火をつけられた時である

Warbonnet Creekの戦い

Frederic Remington

1876年に、北シャイアン族のDull Knifeの大群がSitting BullとCrazy HorseがキャンプをしていたPowder Riverに到達しようとしたときに、合衆国の騎兵隊に襲撃された。



Apache族

1500年からそう時を待たず、全てのアパッチ族、
の6000人もの人達と一緒にになった。

メキシコとアメリカの国境
1836年にメキシコから最終的に自由

アパッチ族の中心なる地域は、アリゾナ州の心臓部辺り

Mangas Coloradas

部族をまとめていた。コロラド族は、平和的な人を抱えていた

Cochise

Coloradasの義理の息子



かれらはApache族の長年の敵

Papagos族

Pimas族

できるだけたくさんのApachesを殺すようにと賞金提供された。

10年間の根絶政策は、1,000人のアメリカ人が住み、
\$40,000,000、何某かの金が後に投入され、アメリカ政府は
これを平和政策にしようと決断

George Crook 将軍

Crookは妥協をしない正直な男
彼は、アパッチ族の斥候を仲裁のために雇い、そして、敵対する者達と妥協し、1874年までにほとんどのアパッチ族を保護居留区に運び込んだ。

Cochiseさえも、白人達のために戦闘停止に同意したのだった。

しかしながら、Crookが離れると、いつものように合意は撤廃され、そして、保護居留区での生活状況は、維持できない状況になって行った。

Apache族

Geronimo

Victorio

Nana

初期のプエブロ

彼らにより先導され、突発の包囲網の突破が起こった。

アリゾナの領域のCamp Grantで、85人のアパッチー多くは女と子供達一が殺された。

悪魔の踊り

この踊りはMountain Spirit Danceとしても知られていたもので、上図のように儀式的に描写されており、これは、アパッチ族の人々を守ることが意図されている。化粧はMescalero Apachesを示しており、黒い布のマスクを着け、木製の頭かぶりをつけており、伝統的な思春期に伴う儀式で踊られていた。



アパッチの悪魔の踊り手

Sand Creek の戦い 1864年の11月29日の夜明けの早くに、John M. Chivigton大佐が、Sand Creekのシャイアン族とアラパホ族のキャンプの村に攻撃をしかけた。



Robert Lindoneux,, 1936

暴力と慈悲心の狭間、 1865－1879年



インディアンの代理人が、インディアン達が“飢餓”の配給を受けている間に、金持ちになっていた。

1890年の風刺漫画より

夜明けの攻撃

1868年に、George Custerは、第七騎兵隊を引きつれ、寝ていたシャイアン族のBlack Kettle のキャンプに朝方の襲撃を指揮した。



Charles Schreyvogel, 1904.

“The Long Walk (長い歩行)”

1865年8月

NAVAJO HEADMAN

Asidi Sani (“Old Metal Smith”)

Herrero Delgadito

8000人以上のナバホ族、彼らは、部族の大部分であったが、その人たちが彼らの意思に反して、拘束されていたニューメキシコの南東部にある保護居留区であるBosque Redondoでのすさまじい生活条件の噂を調査していた、ワシントンから訪問してきた高官と会合をするために当然選ばれた人

コロラドから西に広がる丘陵地からずっと遠く離れた地に閉じ込められている抑圧について説明した

ナバホ族の氏族全体をニューメキシコの南東部の不毛の低地に統合させ、そこで、“彼らに、生活の糧であった放牧生活を奪い取り、強制的にこれを放棄させ、彼らの実り豊かな山麓の故郷から遠く離れた保護居留区に落ち着かせて、彼らの生活を支える手段として製造業の仕事に専念させる”

Navajos族のCanyon de Chellyからの強制退去

Walk in Beauty 美の中の歩み

1870年まで、ナバホ族はプエブロ族やニューメキシコにあるスペインの植民地の間と同じようにメキシコに略奪に行くなどして、山賊だという評判があった。と同時に、何百人というナバホ族の女達や子供たちがニューメキシコの植民地での奴隷となっていたので、襲撃は、一方的なものであったという訳ではない。

ナバホ族は、非常に変化したが、が、Athapaskan語を基本として言語をアパッチ族などと共用していて、自分達自身の事を、Dine、あるいは、Dinehの人達と呼んでいた。彼らは、ほとんど、移動式の家に住み、非常に高地の、輝かしい黄土色の切り立った丘、巨岩台地、空虚な砂漠、そして、時には、モモの木を育てたりすることのできる、奥深い峡谷と言ったような、彼らの壮観な故郷に、家族と氏族の村の集まりを作りながら、ほとんど、定住の地に落ち着くような生活をしていなかった。スペインやプエブロの捕虜になった人達は、彼らを異なった人とし、そして、人口が高くなることを望んだ—彼らの数は、その他のアパッチ族の人達全てをまとめたよりもたくさんの数になっていた。

スペインの植民地は、ナバホ族が直ぐに認識することを学んだ価値ある羊達をも捕えた。彼らは、羊の飼育のやり方を身に付け、女達は毛布を生産する織り方を覚えた。彼らの住まいは、宗教的な感覚と生活の豊かさの中で、溢れるばかりの楽しみが浸み込んで行った；彼らは、素晴らしい方法（Beauty Way）を良いと思った。彼らの詠唱する伝統の神聖なる歌のひとつが、調和と素晴らしさを兼ね備えた彼らの検証の強い印象を与えている：

今、私は神のことを話ながら歩いている

私のまわりの全てのもののなかの素晴らしさと美しさとともに、私は行く；

素晴らしさと美しさを持って私は、不死を追い求める。

こうして、私でありながら、私はすすむ。

Bosque Redondoでの4年の辛い年のあと、ナバホ族は35,000匹の羊とヤギと一緒に彼らの原住地の一部に戻され、こうして、彼らは、もう一度、羊飼いになったのだろう。これが、辛く、そして、もがき続けた年であったにも拘わらず、彼らがすることのできたことだった。生活の美しさに対して彼らの儀式的に捧げることは、決して変わることはなかったし、それが、彼の機織りの独特なデザインと、彼らの非常に巧妙な銀細工を通して世界に知られるようになった。

偉大な協定づくりの浪費

合衆国政府は、州同士の間で戦争で経済的に疲弊していた

南北戦争の後の10年間に、インディアン局の舞台裏の腐敗が悪い事態からより悪い事態に変化した。市民のインディアン代理人は、しばしば議会の悪党どもや、協定の中で約束された食糧、ならびに、火器類を供給することになっている者たちと共謀し、でたらめな策略を懲らして、数千ドルの内の数百ドルを吸い上げていた。

*Lincoln*大統領

Grant大統領

インディアン局の中のスキャンダルが政府の費用をますます掛かるようにしているばかりでなく、彼らが保護居留区をインディアン達の移住のためのすばらしい保育器にしようという決定的な仕事を上手くいかないようにしていると、ますます気付いていた。

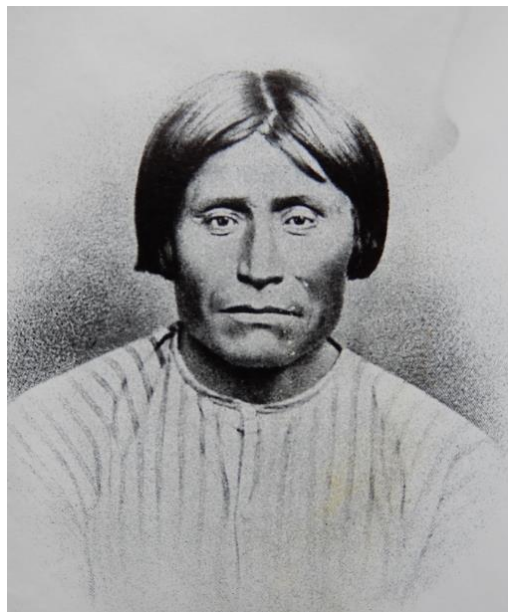
保護居留区のシステムを築く段階での秩序の破壊とか、協約の中で約束された部族の人達への火器類や医療をかすめ取ったり、それを横流ししている供給者の一部によりすっかり騙されたことの、両方の結果であった。しかしながら、1871年に、インディアン達を保護居留区に維持し、彼らを白人のように変えようというGrant 大統領の“平和の政策”の一部として、新しい動きが始まった

しかし、われわれは、改造というものは、インディアンはより下等なもので、国の長官であるHenry Crayが、“世界にとって重大な損失にはならないだろう”という、絶滅することが運命づけられた、“改良できる種族ではない”としているように、こうした強い与論の見方に対し、議論を投げかけるものであるということを忘れてはならない。

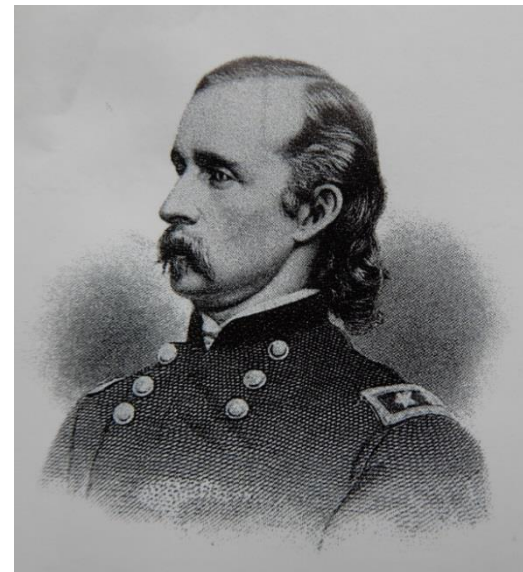




RED CLOUD
Oglala Sioux族の酋長



Modocs族のKintpuash



George Armstrong Custer



Sitting Bull,



Chief Joseph,



クロー族のCurley

バッファローの絶滅



バッファローは、結局は、19世紀の終わりまでに一掃されてしまった。バッファローがほぼ絶滅の危機に瀕したのは、バッファローの毛皮の取引とスポーツ化されたバッファローの狩り、鉄道建設、そして、牛により持ち込まれ、そして、蔓延していった病気などの組み合わせによるものが原因であった。世紀の半ばには20,000,000頭ものバッファローのうめき声が大平原で聞かれたと推定されているが、1895年には1,000頭以下しか残っていなかった。



ミシシッピ川以西でおきた
主な合衆国とインディアンの戦い

CHIEF JOSEPH

数でネズパース族に圧倒する合衆国の軍隊に対抗して戦いながら歩き続けた1700マイルを、彼に従う人達を引き連れたJoseph酋長の輝かしい統率力が、彼らの敵対するMiles將軍、Howard將軍の統治、そして、圧倒的な民衆の統治に対して勝利を収めた。



降参へ向かう騎上のJoseph

しかしながら、Sherman將軍は、インディアン達に関する問題の一番良い解決策として、それは追い出しであると理解した。

寄宿学校の生徒たち

1886年、この年にGeronimoは最後の機会として降参をし、フロリダにあるFort Marionに囚人して送られたが、この同じ年に12歳～22歳までのすべてのChiricahua Apacheの子供達は彼らの家族から引き離され、ペンシルバニアにあるCarlisle Indian Schoolに送られた。これは、現地に到着した4ヶ月後に撮られた、その学校の制服と衣裳をきたApacheの子供たちのグループの写真である。



三人の名は保続の子供－Watte, Keise-te-Wa, そして、He-Li-te－で、伝統的な衣装を着て恰好をつけている。

Carlisle Schoolの制服（右）





SARAH WINNEMUCCA

彼女が生まれた時の名前はTocmetone、あるいは、“Shell Flower.”であった。

Sarahは、彼女がまだ10代の早い時期に、San Joaquin 峡谷を訪れ、そこで、しばらくの間白人の家族とともに暮らし、ちょっとだけ、カソリックの学校に通った。

彼女のぬきんでた知識と言語の才能が、彼女を彼女の部族の人達の求めるものと、非同情的なインディアン代理人との間での調停役としてのSarahの立場を確かなものとした。ネバダでは、彼女は正式な通訳として働き、しばしば、Pyramid Lake Paiuteの代表としてよりたくさんの食料の嘆願をするなどしていた。

私の部族の人達は言葉上の知識には無知であったが、しかし、彼らは、愛というものがどんなものであるか、そして、真実の意味するものが何であるかを知っていた・・・彼らは、世界の歴史については何も知っていないが、しかし、彼らは、全てのもののなかに存在しているSpirit-Fatherを理解することができる。素晴らしい世界が、彼らにSpirit-Fatherの事を話す。彼らは穢れが無く、そして、純粹であるが、でも、勇敢であり、そして、押し付けられようとはしない。”と、書いていた。

1879－1895年に押し寄せてくるもの



PEACE PIPE DANCE
ACEE BLUE EAGLE (CREEL- PAWNEE) ,
ca. 1946



“私は、自分自身と、私の部族のものを救いたいのだ。”

Standing Bearが続けた。

彼は投獄された。かれの釈放に伴い、武装した兵士たちがStanding Bearと500人の彼に従う者達を南に戻し、インディアンの領地に歩いて戻らせた。55日の歩きの旅行の間に、そして、これに次ぐ一年間の間に、Standing Bear 自身の息子もふくめ、100人以上のポンカ族の者が病気と荒れた天候のために亡くなった。

Dundy 判事

“インディアン達は法の意味する人間の範疇である。” という法律に立場を戻した。

Standing Bearの物語は、インディアンの指導者が、戦闘地から、原住民の権利の認められた法的な場所に移り住むという最初の事例の一つであった。

Standing Bear Arthur Aiotte (Oglala Lakota),
1978

シャイアン族の Sun Dance



当時、インディアンの儀式は、投獄することにより罰せられる罪であるとされていた。

Sun Dances—20にも及ぶ部族で実施されていた—と、祈祷師たちによる治療の儀式

北西海岸でカナダ政府は、一般的にはポトラッチとして知られ、これは、正式には1885年に不法とされた

アニマルダンス

Goyathlay (“One Who Yawns”) という名の47歳の戦闘の酋長に導かれて、分離して行った一団が、かれらが農場の所有者を困らせ、そして、牛泥棒をしてこれをニューメキシコに連れてきて取引していた場所に向かって逃げ出した。

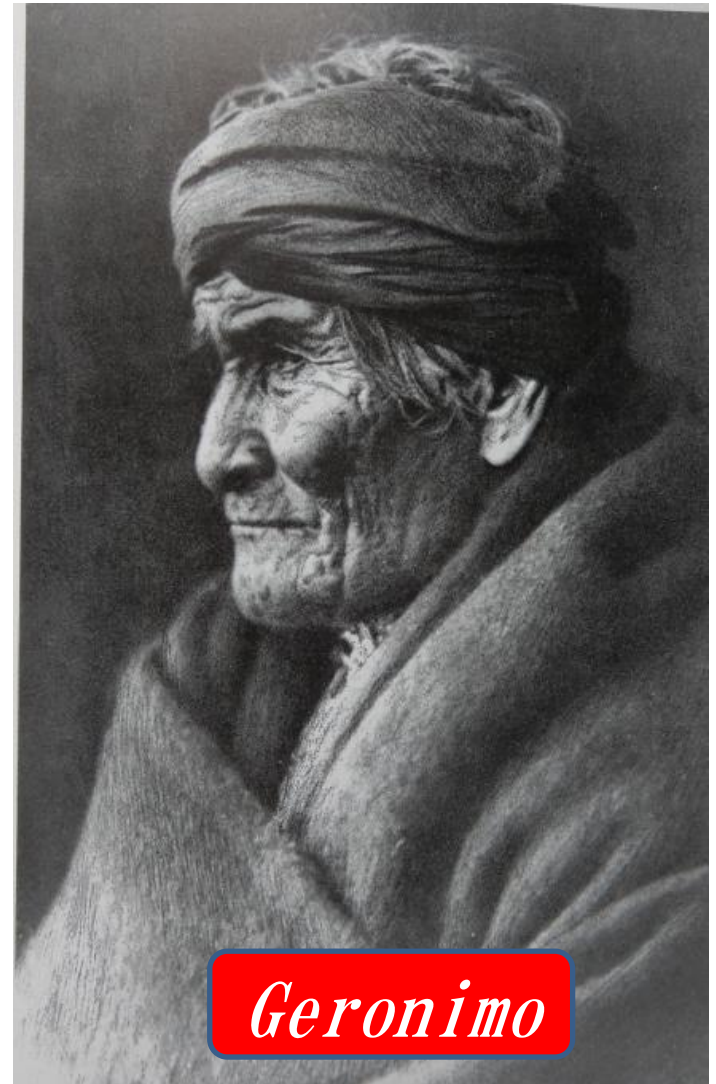
Goyathlay

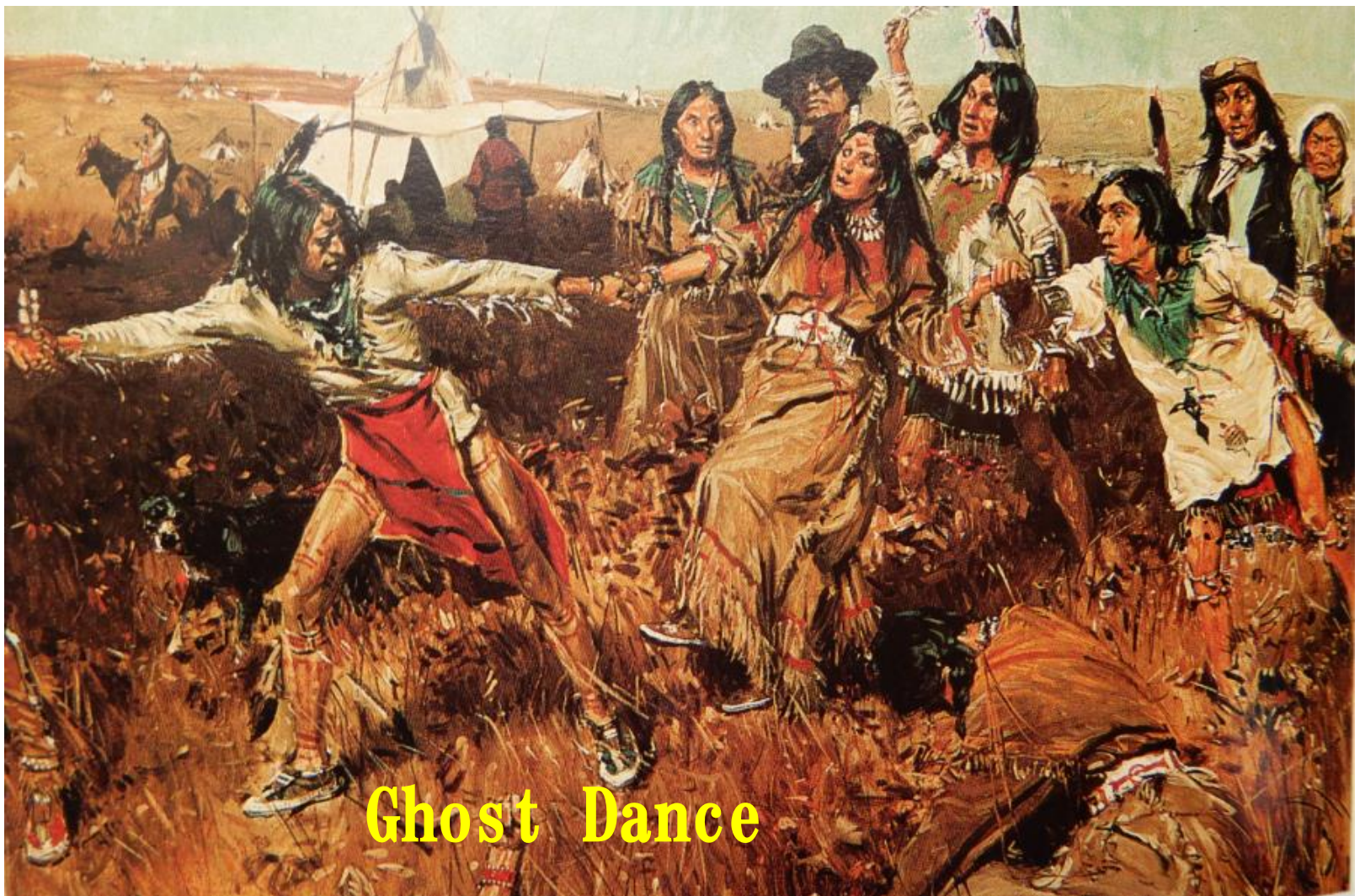


Geronimo

Geronimoは1884年に保護居留区で生活することを受け入れ、そして、彼の戦士たちは、彼ら自身のうまくやっている広い牧場で、腕の立つ牧童としての証明をした。しかしながら、抑圧をするような保護居留区の生活は、彼らの戦士としての羽根をはばたかせるという若いアパッチ族の者達の機会を否定するものであり、

1885年の春に、Geronimoと134人の彼に従う戦士たちは、最期の自由を掛けて爆発した。





Gilbert Gaul, ca. 189s

“ゴーストダンスの中の人みんな手をつないだ。最初に男がきて、次に女が着て、このようにして非常に大きな輪を作る。彼らは、輪の周りで休まず踊り続け、彼らの内の何人かは、疲れて来て、疲れ切ったものは、気が狂ったようになり、最後には、死んだようになった。”

—GEORGE SWORD
(Oglala Sioux)



**1890年の8月、Cheyenne RiverのGrass DanceでのBig Foots族の
Minniconjou氏族**

**4ヶ月後に、殆ど全員が、米国の騎兵隊により、Wounded Kneeでの虐殺
により殺された。**



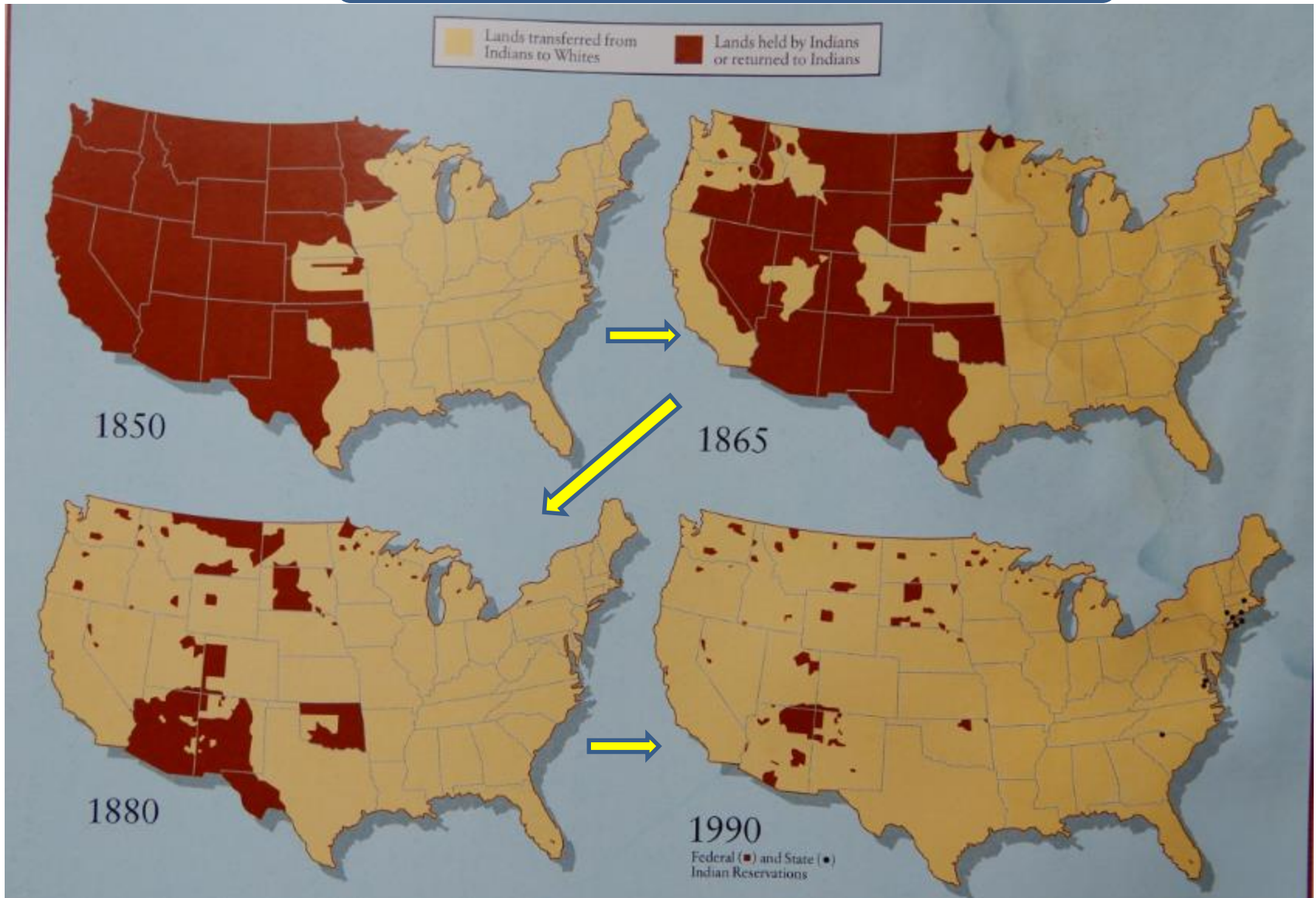
内務省からの、インディアンに対する部族への割り当てが終わった後の土地を購入するように個人あてに誘惑する宣伝。この広告に載っているインディアンの写真は、Not Afraid of Pawneeと名のついたYankton Sioux族の者



1863年の9月16日のCherokee領地の切り売りの開始
19世紀の終わりは、インディアンの領地が売られていくと言う、歴大な大地の移行という事が起きた。



領土が失われていった過程



協定、購入、そして、あからさまな窃盗により、大陸に対する所有の主張が、原住民の人達からもぎ取られていった。

引き潮時で 1894－1915

合衆国では、125年前にはほぼ300,000人のインディアンが住んでいたが、そこに、1900年では、15,000人以上のインディアンを見つけることは難しくなっていた。



白人の兵士達が、戦闘で殆ど全てのスー族を殺した。それから、女達が、尾羽のそのわき腹に隠れていると言われた；そこで呼吸をするために彼女は脇腹の葉をわけていた。彼女は多分4日間水のなかに横たわっていた。4日が過ぎると、精霊が彼女のもとにやってきた。彼は彼女に全ての事を話した。彼は彼女にインディアンは踊りの儀式をどうすればよいのか、話した；彼は彼女に、どうすれば、全てがうまくいくかを話した。彼は彼女にどんな行動を取るべきか、全てを話した。；そして、彼らがいま現在一人々がお互いに相手を傷つけているような－そうした方法ではあってはならない。それではだめだ！ 之が、精霊が彼女に話したものだ・・・全てのものが彼女に説明された：かれらはお互いに慰め合わなくてはならない、お互いに相手に対してよくあるべきだ、全ての事にたいしてお互いに助け合わなくてはならない、と。

Menominee story form 1878 as told by Johnny the Thunderer Comes With Noise of Thunder, ca 1950

Geronimoのようなほとんどのインディアンが自由を求める戦士が捕まってしまう、殺されたり、あるいは、能力をなくされてしまうと、この移行の時期の現象は、熱い血潮と怒りを持った、そして、混乱した若者たちにより保護居留区の西部の地域の指先の地での非合法の突発事件となった。

モンタナ

Swordbearer、

カナダ

Almighty Voice、

アリゾナ

Apache Kid、

ネバダ

Willie Boy

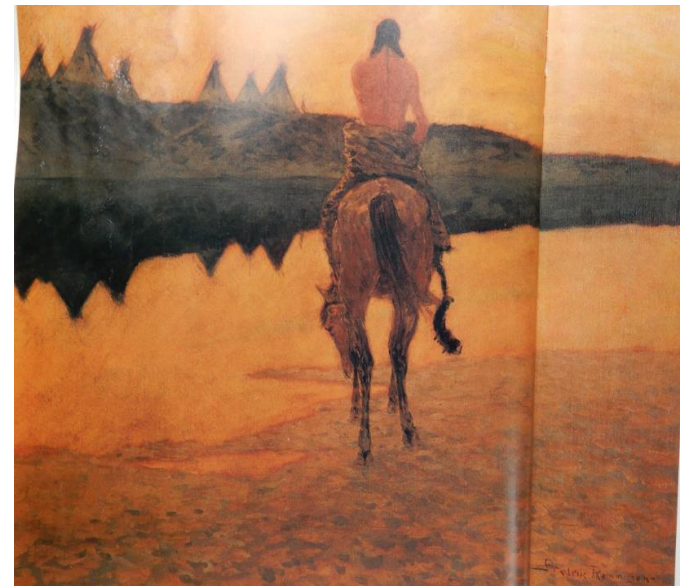
ナバホ

若いものたちの戦闘(1913)

ウテ族

戦闘(1915)

こうした事件は、次の時代の、戦闘士たちの推進力や初期のリーダーシップの性質をある方向に向けるような権威的な様相の無い、力の無い部族に対する人間的な代価を強調したものだだった。



栄養失調とかひどく悪い生活条件により悪化の一途をたどっていた原住民たちの社会での、トラコーマ、インフルエンザ、肺炎、そして、結核と言った新しい伝染病が、国のインディアンのなかでは報告されず、1908年に連邦政府のインディアン健康プログラムが設定されるまで注目もされなかった。結核の破壊の猛威は太平洋の北西海岸で、1907年には南カルフォルニアのMohave族のなかで、全ての死者の内95%ほどまでになり、アリゾナではPima族の家族の死者の66%までとなるなど、インディアンの家族の数を大幅に減少させていた。



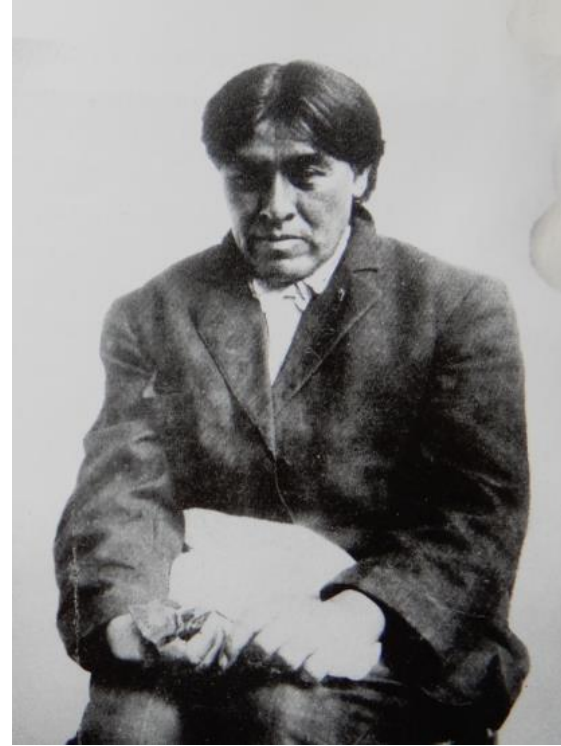
そして、一般の大衆がインディアンの人達に興味を持たなくなるようになると、インディアン達の土地を薄切りに切り分けるという改革運動は、容赦なく進んで行った。

オクラホマ

1887年、領土を保有するインディアンの19の部族が分配に対抗して表明した。蓄えにおける恐ろしい運命に先んじ用途の試みをしつつ、5つの文明化された部族が、いまこそとばかり、他の部族のために、もはや1861年に提案されたオクラホマではなく、彼らの独特な字韻表を発明したチェロキー族の名誉を称え、Sequoyahであるとして戦った。

オクラホマが州としての地位を得ようと取り組んだように、周りの州は、避けられないものとして、彼らの昔からの権利を、自治統治を確立するために引き渡し、州としての国家の基本法を受け入れ、自らを放棄した。

最後のインディアン



矢を造るために筋をどうやって噛
むかをデモンストレーションして
いるIshi

1911年の8月9日に、San Franciscoの北東50マイルにある、カルフォルニアのOrvilleの牧場で見つけられた Yahi 族の男 Ishi



Sitting Bull, Hunkpapaのスー族の指導者として、かれはLittle Bighornの戦いに参加していた。が、彼の年からして活動的な立場ではなかっただろう。インディアンの勝利のあと、かれは、彼の部族をカナダの避難地に連れていった。五年後に彼は彼自身が降参するために戻ったが、保護居留区の守備隊に殺されてしまった。

Sitting Bullかれ自身の唇から出てきたと言われている言葉：“白人たちの道のなかの最善のものを取りなさい、それを取り上げ、あなたと一緒にそれをしてしまおう。悪い物は、それだけで残しておき、それは捨てなさい。昔のインディアンの方法で一番よいものを選びなさい—いつもそれを維持するのです。それらは、何千年ものあいだ、それを証明して来たのです。それらを死なせないようにしよう。”と、言ったことを実際に行動しながら、インディアンがどのようにして、より深い所にある言葉に気を使っていたかに突き当たる。

GLIMMERING of SOVEREIGNTY

独立国へのかすかな光

1815－1924



CORN MOTHER , 生活の中での収穫
FERNANDO PADILLA, JR. (SAN FELIPE PUEBLO)



記憶の中の夕日 Woodrow W. Crumbo (Potawatomi-Creek), 1946

市民権問題



Charles Eastmanが、かれの開会の挨拶の中で明確にした。“我々インディアンはアメリカ人魂の基本全体を始めた・・・[インディアンは]国を守るであろう。一人のインディアンがこの国のリーダーになる日が来れば、その日が、市民権が安定した根拠の上にやってくる日となるだろう。”と。

役人に招待された一人の者が、“十分に資格がある”と、判断されたインディアンだけが市民権を与えられるべきだと主張した時に、オマハ族の会員で有る

Thomas Sloanは、“インディアンはこの国の原住民であり、原住民であるその人がその国の市民となるのは、国際的なルールである・・・逆の方向の主題であり、改良されたインディアンよりもむしろインディアンは**市民権**を必要としているのだ。”



Joseph Oklahombi

純血のチョクトー族の男

フランスとドイツでの死傷者が出る野戦で、ノースダコタのビスマルクからの Joseph Oklahombi という名前の純血のチョクトー族の男の手柄は、予測もつかない原住民の愛国心の爆発の模範的なものであった。恐ろしい塹壕戦闘に加わり、Oklahombi は、ただの二等兵ながら、有刺鉄線の転がる戦闘前線を、ドイツ軍の集中砲火を浴びながら、201ヤードも潜り抜けて前進した。ドイツ軍の陣営に辿りつき、彼はマシンガンの陣地を取り押さえ、一人で、170人もの捕虜を捕まえた。この後、Oklahombi は、自分たちの塹壕の陣地で驚いていたドイツ兵の囚人を捕獲し、敵の陣地を掃射しながら、負傷した仲間達を救出し、戦闘地の溝のできた無人地帯を越えて行ったとの評判を得た。

勇気あるこうした行いに対し、Philippe Pétain 元帥、彼は、フランス人の戦闘指揮官の首長であるが、その彼が、Oklahombi に対して、フランスの最高位の栄誉を授与した。



Yavapaiの医者、彼の名前はCarlos Montezumaと言うが、その彼が、Society of American Indiansの5回目の年会で、指揮台に向かって大股で歩いて行った時、聴衆の中にいた彼のインディアン仲間のある者達が身を引き締めた。

アフリカ系アメリカ人に対しては1868年に市民権は与えられたが、インディアンは依然として、公民権が剥奪されたままになっており、これに対して猛烈に怒って、インディアン局にたいしてMontezumaは熱情的なキャンペーンをしたが、それは、学会の温厚な憲章の下では活性化されることはかなわなかった。



インディアン達が実際に維持していたもの、それは、多分、合衆国の法的な威信よりももっと貴重な価値のあるものだったが、それがかれら自身の特別な歴史的、文化的、そして、固有の北アメリカの国としての法的な基盤であった。



第一に、歴史的に生き残ったものとして、人間の歴史のなかで、いかなる少数民族の集団の集まりに対しての最も持続した襲撃で有るにも拘わらず、アメリカのインディアン達は、武力や、病気による消滅、あるいは、望まれた考えにより“姿を消す”と言ったもので排除されはしなかった。

二番目には、文化的に生き残ったものとして、インディアンは、すべての彼らの言語（1924年に58のものがまだ存在していた）を失わなかったか、あるいは、彼らの生活様式（1924年には193の連邦政府が認めた部族が存在していた）、あるいは、原住民の人々の間に広がっていたに違いない適当な相互関係についての彼らの信仰、彼らの伝統的な精神、そして、彼らの自然の環境というものが失われていなかった

そして、三番目に法的に生き残ったものとして、多くのインディアンの部族が持ちこたえた権威と言うものが、別々の二つの世代の中で、かれらの多くのために1850年に楽しみながら戻った自治の威信の程度を取り戻そうと再び顔を表すような、彼らの協定のなかに形作られた州と州との独特な相互関係にしがみついていた。

全ての不平等に対抗して、原住民のアメリカ人達は、20世紀に生き残っていった。

Thank you !

PETER NABOKOV